令 和 ９ 年 度

和歌山県立医科大学大学院医学薬学総合研究科
生命医療科学専攻（博士後期課程）

学 生 募 集 要 項

（２次募集）

和歌山県立医科大学大学院医学薬学総合研究科

和歌山県立医科大学大学院医学薬学総合研究科
生命医療科学専攻博士後期課程　アドミッション・ポリシー

ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、以下のような学生の入学を求める。

① 先端的な医科学・薬科学の卓越した知識と見識、高い倫理観、課題解決のための高度な能力を身に付けたい人
② 医科学・薬科学統合領域の専門知識や分野横断的な考察力により、医療の多種多様な課題を発見し、その解決に精力的に取り組み、世界レベルで活動したい人
③ リサーチマインドを持った高度医療人、共同研究や医療チームのリーダーや主要メンバーとして、高度先進医療・地域保健医療を積極的に推進したい人
④ 医療分野において、大学、医療機関、企業等に勤める社会人としてキャリアアップを図り、教育・研究・臨床活動を高いレベルで実践し、社会貢献したい人
⑤ 本専攻課程での学修の基盤となる、医科学・薬科学の知識や研究能力、考察力、コミュニケーション力や英語力を持ち、主体的・協働的に研究に打ち込む態度を有する人

※養成する人材像、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及び各プログラムのアドミッション・ポリシーについては、下記の本学ホームページをご参照ください。
https://www.wakayama-med.ac.jp/dept/daigakuin-sougou/senkou/hakase3y/index.html

Ⅰ　入学期日

入学期日は、令和９年４月１日付けとする。

Ⅱ　募集人員

専　　攻	課　程	プログラム	募集人員
生命医療科学専攻	博士後期課程	生命医科学プログラム 生命薬科学プログラム	５人

注1　博士後期課程の修業年限は３年です。
注2　募集人員には社会人を含みます。社会人とは、官公庁、研究所、企業、病院等に勤務若しくは入学後勤務予定の者をいい、勤務中の者については勤務成績が優秀で、入学後もその職を有する者をいいます。
注3　社会人が大学院教育を受けやすくするため、大学院設置基準第１４条の教育方法の特例を適用し、授業を夜間に開講するカリキュラムを実施します。

Ⅲ　領域・主科目

プログラム	区分	領　域	主科目
生命医科学プログラム	A 区分	社会医学	法医学、環境保健予防医学、公衆衛生学、医療統計学、医療データサイエンス学(医療データサイエンスコース)、医療情報学

プログラム	区分	領　域	主科目
生命医科学プログラム	A 区分	形態機能医学	分子機能形態学、システム神経生理学、統合分子生理学、機能調節薬理学、分子病理学
		細胞分子機能医学	代謝生物化学、分子遺伝学、分子病態解析学、難病発生学、病原微生物学
	B 区分	総合医療医学	放射線医学、救急・集中治療医学、麻酔科学、リハビリテーション医学
		器官病態内科学	糖尿病・内分泌代謝内科学、呼吸器内科学、循環器内科学、腎臓・体内環境調節内科学、リウマチ・膠原病科学
		器官病態外科学	脳神経外科学、整形外科学、脊椎脊髄病学、視覚病態眼科学、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
生命薬科学プログラム	C 区分	物理・化学薬学	物理・化学薬学、薬品物理化学、薬品化学、生薬・天然物化学、有機合成化学
		生命薬学	病態解析学、生物化学、生体機能解析学、衛生薬学
	D 区分	医療薬学	病態生理学、薬品作用学、薬剤学
		臨床・社会薬学	臨床・社会薬学、病院薬学、医療薬剤学、医療開発薬学

Ⅳ　入学出願資格

１　一般入試

（１）修士の学位若しくは専門職学位を有する者又は令和９年３月までに授与される見込みの者

（２）学校教育法第１０４条第７項の規定により修士の学位を授与された者又は令和９年３月までに授与される見込みの者

（３）外国において、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は令和９年３月までに授与される見込みの者

（４）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は令和９年３月までに授与される見込みの者

（５）我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は令和９年３月までに授与される見込みの者

（６）国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者又は令和９年３月までに授与される見込みの者

（７）外国の学校、第５号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第１６条の２に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

（８）文部科学大臣の指定した者
①大学を卒業し、大学、研究所等において２年以上研究に従事した者で、本学大学院医学薬学総合研究科において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
②外国において学校教育における１６年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における１６年の課程を修了した後、大学、研究所等において２年以上研究に従事した者で、本学大学院医学薬学総合研究科において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

（９）本学大学院医学薬学総合研究科において、個別の入学資格審査により、（１）に掲げる者と同等以上の学力があると認めた者で、令和９年３月までに２４歳に達する者

（１０）その他本学大学院医学薬学総合研究科において、修士等の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

注 入学出願資格（７）～（１０）により出願しようとする者は、出願資格の認定が必要となります。（下記Ⅴ 出願資格審査 を参照）

２　海外在住者特別入試
出願時点で海外に在住し、入学試験を受験するために渡日することができない者で、「１　一般入試」の（１）～（１０）のいずれかに該当する者

Ⅴ　出願資格審査

入学出願資格（７）～（１０）により出願しようとする者は、出願前に資格審査等を行いますので、次の申請書類を期日までに提出すること。

資格審査申請書類提出期間	令和８年１１月１２日（木）～令和８年１１月１８日（水） ただし、 土、日曜日及び祝日を除く、午前９時から午後４時まで ＊郵送による場合も、同期間内に必着のこと（書留便）。
申請書類	ア　出願資格審査申請書・・・本学所定のもの イ　卒業証明書・・・最終学歴として記載した学校等の証明書 ウ　成績証明書・・・最終学歴として記載した学校等の証明書 エ　志望理由書・・・本学所定のもの オ　受験許可書・・・本学所定のもの（勤務先の許可書） カ　研究活動歴・・・本学所定のもの キ　研究計画書・・・本学所定のもの
提出場所	和歌山県立医科大学　学生課入試学務班 〒641-8509　和歌山市紀三井寺 811-1 TEL（073）441-0829 ※志望するプログラムに関わらず、提出場所は上記です。

Ⅵ　願書受付期間及び受付場所

（1）願書受付期間

受付期間	令和８年１１月２７日(金)から令和８年１２月７日(月)まで ただし、土、日曜日及び祝日を除く、午前９時から午後４時まで

＊郵送による場合も、同期間内に必着のこと。

（２）受付及び試験事務取扱場所

〒641-8509　和歌山市紀三井寺 811-1
和歌山県立医科大学　学生課　入試学務班　TEL（073）441-0829
※志望するプログラムに関わらず、提出場所は上記です。

Ⅶ　出願手続

出願者は、下記の提出書類を取り揃えて本学学生課に提出すること。郵送する場合は、必ず書留便によること。

出願にあたっては、事前に志望主科目（学位論文作成の基本となる科目）の主任教授等又は研究指導教員（P.11 以降の特別科目「担当教員欄」の◎印）の承諾を得て、願書の「主任教授等又は研究指導教員署名欄」に署名をもらうこと。

問い合わせ先　　和歌山県立医科大学 学生課 入試学務班　TEL（073）441-0829

1　一般入試

提出書類	【出願資格（１）～（６）】 (1) 入学願書・履歴書・・・本学所定のもの (2) 志望理由書・・・本学所定のもの (3) 成績証明書・・・最終学歴として記載した学校等の証明書 (4) 修了証明書又は修了見込証明書・・・最終学歴として記載した学校等の証明書 (5) 学位(修士)取得証明書又は見込証明書・・・入学出願資格（２）により出願する者 (6) 写真２枚・・・出願前３か月以内に撮影したもの（正面上半身無帽で縦４㎝×横３㎝、カラー写真に限る） (7) 受験票・写真票・・・本学所定のもの (8) 語学力を証明する資料［英語外部検定試験のスコア］ （語学試験の免除を希望する場合）・・・以下のうち、いずれか一つ ※試験日から２年以内のものに限る TOEFLPBT の成績通知書（500 点以上） TOEFLiBT の成績通知書（61 点以上） TOEIC 公開テスト（L&R）の成績通知書（590 点以上） （TOEIC-IP，TOEIC S&W，TOEIC Bridge は不可） IELTS(overall score）の成績通知書（5.5 以上） (9) 研究計画書・・・本学所定のもの ※社会人（Ⅱ募集人員注２.参照）は上記に加え下記書類も提出 (10)受験許可書・・・本学所定のもの（勤務先の許可書） (11)研究活動歴・・・本学所定のもの
	【出願資格審査により認定を受けた者】 (1) 入学願書・履歴書・・・本学所定のもの (2) 出願資格認定書・・・出願資格審査後、事務局から送付します。 (3) 写真２枚・・・出願前３か月以内に撮影したもの（正面上半身無帽で縦４㎝×横３㎝、カラー写真に限る）

提出書類 （つづき）	(4) 受験票・写真票・・・本学所定のもの (5) 語学力を証明する資料［英語外部検定試験のスコア］ （語学試験の免除を希望する場合）・・・以下のうち、いずれか一つ ※試験日から２年以内のものに限る TOEFLPBT の成績通知書（500 点以上） TOEFLiBT の成績通知書（61 点以上） TOEIC 公開テスト（L&R）の成績通知書（590 点以上） （TOEIC-IP，TOEIC S&W，TOEIC Bridge は不可） IELTS（overall score）の成績通知書（5.5 以上）
検定料	30,000 円 同封の振込依頼書を使用のうえ、金融機関窓口（ゆうちょ銀行を除く銀行、信用金庫、信用組合等）で振込み（電信扱い）のこと。 （振込手数料は、本人負担となります。） 振込み後、入学検定料振込金受付証明書（Ｃ票）を、入学検定料納付書に貼り付けること。 ※ 本学大学院の修士課程又は博士前期課程を修了し、２年以内に引き続き大学院の博士後期課程に進学する者については、検定料を徴収しないものとする。

※ 出願書類等の不備及び記載内容が事実と相違する場合は受験させないことがある。また合格発表後や入学後においても、合格又は入学を取り消すことがあるので、留意すること。

※ 証明書等に記載された姓名が出願書類の氏名と異なる場合は、変更の事実を証する書類（戸籍抄本等）を提出すること。

※ 受験票の郵送を希望する場合は、受験票の返信用封筒（住所、氏名、郵便番号を表記し、書留速達料金を含む 890 円の郵便切手を貼った封筒）を同封すること。

２　海外在住者特別入試

上記「１　一般入試」の出願書類に加え、下記の書類を提出すること。なお、海外在住者特別入試で出願する場合は、「語学力を証明する資料」を必ず提出すること。

検定料については、「１　一般入試」の検定料の欄を参照すること。

提出書類	(1) 推薦状・・・１名以上の推薦状（日本語又は英語） (2) 受入教員の承諾書・・・受入教員から提出 (3) 語学力を証明する資料［英語外部検定試験のスコア］（再掲） ・・・以下のうち、いずれか一つ ※試験日から２年以内のものに限る TOEFLPBT の成績通知書（500 点以上） TOEFLiBT の成績通知書（61 点以上） TOEIC 公開テスト（L&R）の成績通知書（590 点以上） （TOEIC-IP，TOEIC S&W，TOEIC Bridge は不可） IELTS（overall score）の成績通知書（5.5 以上） (4) 顔写真付きの本人確認書類（パスポート等）の写し（カラー） (5) 受験票の返信用封筒（住所、氏名、郵便番号を表記し、国際書留料金を含む郵便切手を貼った封筒を同封すること。）

Ⅷ　受験上及び修学上の配慮を必要とする者の事前相談

入学を志願する者で、障害等があり、受験上及び修学上の特別な配慮を必要とする者は、次の事項を記載した書類（様式は任意）を添えて、出願受付開始日の前日までに願書受付場所に相談してください。

① 出願者の氏名、住所、電話番号
② 志望主科目及び指導を希望する教員名
③ 障害等の種類・程度（障害者手帳のコピー又は医師の診断書を添付）
④ 受験上及び修学上の配慮を希望する事項

⑤ 出身大学等でとられていた配慮、日常生活の状況など

IX　試験科目、試験期日及び試験場

1　一般入試

科目 / 期日時間	専門筆記試験	面　接	語学試験	試　験　場
令和９年１月８日（金）	１１:００～ １２：００	１３：３０～ １６:３０	１７:００～ １８:３０	高度医療人育成センター５階

（備考）　ア　集合時間・場所は出願者に別途連絡する。
イ　専門筆記試験は、志望する主科目（研究分野）について行う。
ウ　語学試験は「英語」とする。辞書は持ち込み可（電子辞書は不可）
エ　Ⅶ出願手続の提出書類「語学力を証明する資料」を提出した受験者は語学試験が免除される。
※受験者は、試験開始２０分前までに試験場に参集のこと。
※試験場は変更することがあります。変更がある場合は、別途出願者に連絡します。

2　海外在住者特別入試

科目 / 期日時間	専門筆記試験及び面接 ※対応言語は、原則日本語又は英語
令和９年１月８日（金）	１３：３０～１６：３０

（備考）　ア　試験日時は出願者に別途連絡する。
イ　専門筆記試験は、志望する主科目（研究分野）について口頭試問を行う。
ウ　試験はオンライン方式で実施する。詳細は試験日時とともに通知する。

X　選抜方法及び配点

基準を満たす英語外部検定試験のスコアを提出した者は、本学の語学試験を免除します。語学試験が免除となる英語外部検定試験及びスコアの基準点は「Ⅶ　出願手続」の提出書類の欄を参照してください。

英語外部検定試験のスコア又は本学の語学試験の点数は、入学に必要な英語能力の判定に使用します。最終合格者の判定は、専門筆記試験（100 点満点）、面接（100 点満点）、英語能力及び出願書類等により総合的に行います。

XI　合格発表

令和９年２月１９日（金）１６時３０分
本学ホームページ上に２月１９日（金）１６時３０分から一定期間掲載するとともに、合格者本人あてに郵送にて通知する。
掲載場所：本学ホームページ>入試・入学案内>大学院医学薬学総合研究科>合格発表

XII　入学手続

手続期間	令和９年３月３日（水）～令和９年３月９日（火） ただし、土、日曜日及び祝日を除く、午前９時から午後５時まで
提出書類	(1) 修了見込みで受験した者は、修了証明書 (2) 在学誓約書　本学所定のもの (3) 写真２枚　願書と同一のもの

入 学 金	282,000 円 ただし、本学大学院の修士課程又は博士前期課程を修了し、２年以内に引き続き大学院の博士後期課程に進学する者については、入学金を徴収しない。

＊　期日までに手続を行わなかったときは合格を取り消すことがある。

XIII　授業料

年額 535,800 円（毎年５月、１１月の２回に分納する。）

XIV　その他

(1) 出願手続後は、理由を問わず、検定料は返還しない。
(2) 入学手続後は、理由を問わず、入学金は返還しない。
(3) 募集要項、願書等は 270 円の郵便切手を封入の上、本学学生課へ請求のこと。(返信用封筒不要)　※出願書類は、本学ホームページ
(https://www. wakayama-med. ac. jp/dept/daigakuin-sougou/bosyuuyoukou.html)
よりプリントアウト可能
(4) 入学金、授業料等の額は、改定されることがある。在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用される。
(5) 職業を有している等の事情により、標準修業年度を超えて、一定期間にわたり計画的に教育課程を履修し、課程を修了することを希望する場合には、長期履修制度を申請することができる。申請者は、別途指定する期日までに学生課窓口へ申し出ること。
(6) 本学では、出願及び入学手続にあたって提出された個人情報は、入学試験の実施、合格発表、入学手続及び入学後の学生生活関連業務において使用します。本学が取得した個人情報は、第三者に提供することはありません。
(7) 過去の入試問題（語学試験のみ）の閲覧については、学生課入試学務班（電話 073-441-0829）までお問い合わせください。
(8) 気象警報の発令や公共交通機関の乱れ、大規模災害、感染症などにより、所定の日程による試験実施が困難となるような不測の事態が生じた場合は、試験の中止・延期等の対応について、下記ホームページでお知らせします。
本学ホームページ　https://www.wakayama-med.ac.jp/
(9) 本学では、入試における公平性・公正性を確保するため、不正行為には厳正に対処します。不正行為の範囲や不正行為への対応については、ホームページに掲載していますので、確認してください。
(10) 本学には、入学金・授業料の減免制度や和歌山県立医科大学青洲基金大学院奨学金（給付型）などの学生が利用できる経済支援制度があります。また、日本学生支援機構の奨学金（貸与型）も利用可能です。各制度を利用するには申請が必要です。詳細や申請方法については、ホームページに掲載しています。

奨学金関係　　減免制度関係　　青洲基金大学院奨学金

令和８年１１月

和歌山県立医科大学大学院医学薬学総合研究科
〒641-8509　和歌山市紀三井寺 811-1（医系）
〒640-8156　和歌山市七番丁 25 番 1（薬系）

和歌山県立医科大学大学院医学薬学総合研究科　生命医療科学専攻博士後期課程の概要

1　目　　的

高度先進的かつ分野横断的な大学院教育により、共同研究のリーダーとして国際的に活躍できる高度生命医療科学（医科学・薬科学）研究者、高度先進医療･地域保健医療の現場で医療チームの主要メンバーとして活躍できる高度専門職医療人又は大学等の高度な教育者等を育成することを目的としています。

2　標準修業年限　　３年

3　授与する学位　　博士（医科学）、博士（薬科学）

4　修了要件

博士後期課程に３年以上在学し、所定の単位（２３単位以上）を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること

5　授業科目一覧

科目区分	授業科目	単位数		備　考
		必修	選択	
共通科目	研究倫理・医療倫理学Ｂ		1	※他大学からの進学者で同様の講義を博士前期課程（修士課程）で履修していない学生のみ
	多職種連携Ｂ		1	
	医療情報リテラシーB		1	
ベーシック科目	発展的研究方法論	1		５単位以上 ※基礎医学・薬学特論Ⅰ、基礎医学・薬学特論Ⅱから１単位、地域医療課題特論Ⅰ、地域医療課題特論Ⅱから１単位
	疫学方法特論	1		
	Advanced Academic English	1		
	基礎医学・薬学特論Ⅰ		1	
	基礎医学・薬学特論Ⅱ		1	
	地域医療課題特論Ⅰ		1	
	地域医療課題特論Ⅱ		1	
専門科目	臨床医学特講＊		1	４単位以上 ※生命医科学プログラム選択生は＊印２単位必修、☆印から１単位以上、◇印１単位必修 ※生命薬科学プログラム選択生は＊印から１単位以上、☆印から２単位以上、◇印１単位必修
	健康科学特講＊		1	
	創薬標的評価学特講☆		1	
	神経薬理学特講☆		1	
	基礎薬科学特講☆		1	
	がんに対する医学・薬学ｱﾌﾟﾛｰﾁ◇	1		
特別科目	特別演習		2	１４単位 ※１０領域から選択 ※主科目（１２単位）＋副科目（特別演習：２単位）
	特別研究		１０	

6　長期履修制度

社会人学生で職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて、一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することができる制度です。社会人学生でも長期履修制度を活用することにより、研究時間を確保することができます。

講義等の概要

※下記概要に従い、授業を行いますが、内容が若干変更となる場合があります。

＜共通科目＞

授業科目	概　　要
研究倫理･医療倫理学Ｂ	医学・薬学における教育、研究及び臨床は、生命に対する尊厳や倫理観をもって行われなければならない。本講義では、動物実験や遺伝子組み換え実験などにおける研究倫理及び臨床現場での医療倫理について考察し、生命医療科学研究者、専門職医療人として求められる高い倫理観を養う。
多職種連携Ｂ	地域の保健医療課題の解決においては､各分野を専門とする医療従事者の連携が重要である。本講義では、医学、薬学、保健看護学の観点から多職種連携の実践に係る手法・知識を修得することを目的とする。
医療情報リテラシーB	医療ビッグデータやゲノム情報などの医療情報を取り扱う研究分野の重要性が増していることから､医療情報の処理や活用の方法を倫理的な観点も含めて修得する。

＜ベーシック科目＞

授業科目	概　　要
発展的研究方法論	電気生理学的実験方法や社会調査法、トランスレーショナルリサーチなどの発展的研究方法や研究の進め方などについて学び、研究を遂行する上で必要となる専門的知識を修得する。
疫学方法特論	本講義では、ヒト集団を対象とした広義の疫学研究（いわゆる臨床研究も含む）の立案や、関連論文の批判的吟味に必要とされる疫学の重要概念や研究手法を系統的に理解・修得することを目的とする。
Advanced Academic English	医療系の英語論文の読み方や発展的な文法知識、英語論文を執筆する際のルール、学会等でのプレゼン方法などについて学び、国際的活躍の基盤となる英語論文による発信方法を修得する。
基礎医学・薬学特論Ⅰ	実験動物モデルの作成手法や生命医療科学研究推進の基盤となる生理学、分子病態解析学、生体機能解析学などの医学、薬学両分野における知識を身につける。専門分野以外の知識・見識も修得することにより、医科学薬科学横断的な観点から考察する能力を修得するための基礎を築く。
基礎医学・薬学特論Ⅱ	生命医療科学研究推進の基盤となる薬理学、分子機能形態学、薬品作用学などの知識を身につける。専門分野以外の知識・見識も修得することにより、医科学薬科学横断的な観点から考察する能力を修得するための基礎を築く。
地域医療課題特論Ⅰ	本県におけるがんや脳血管障害、循環器疾患、糖尿病などの状況について学び、地域の保健医療課題に対する理解を深めるとともに、自ら課題を発見する能力や幅広い観点から考察する能力の基盤となる知見を修得する。
地域医療課題特論Ⅱ	本県における地域医療の現状や救急医療、周産期医療などについて学び、地域の保健医療課題に対する理解を深めるとともに、自ら課題を発見する能力や幅広い観点から考察する能力の基盤となる知見を修得する。

＜専門科目＞

授業科目	概　　要
臨床医学特講	臨床医学の各分野におけるより高度な知識や最近の話題などについて幅広く学び、各疾患等における最新の知見を修得することにより、生命医療科学研究や高度先進医療・地域保健医療の推進に寄与できる能力を養う。
健康科学特講	高齢化社会における疾患や地域における身近な疾患についてより専門的に学ぶことにより、課題の解決に向けて主導的に取り組む能力を養うとともに、高度先進医療・地域保健医療を推進する能力を培う。また、専門職医療人として必要な高度な臨床知識・技術を身につける。
創薬標的評価学特講	創薬に関わるタンパク質、化合物開発、遺伝子改変マウスによる創薬評価手法を学ぶことにより、創薬研究に向けた最新の知識及び技術を身につける。
神経薬理学特講	精神疾患、睡眠障害、疼痛などの重要な中枢神経系疾患の感覚変化、病態原理とその研究最前線を紹介し、その現状と課題を紹介する。当該疾患に対する主要な治療薬と創薬の現状を学び、その作用機序、副作用について修得する。
基礎薬科学特講	基礎薬科学関連領域における、タンパク質化学構造論、有機薬化学、衛生化学、ケミカルバイオロジー、代謝栄養科学の基礎的事項から最新の知見まで幅広く学び、高度な研究力の育成を目指す。
がんに対する医学・薬学アプローチ	地域の保健医療課題の一つであるがんに対し、医科学・薬科学の両分野からアプローチし、がん医療の向上や治療薬の開発など課題の解決に向けて分野横断的に深く考察し高度な研究を行う能力を育てる。

＜特別科目＞※担当教員欄の職位は、認可決定時又は専任教員採用等設置計画変更後のものを記載

区分	領域	主科目	担当教員 （◎研究指導教員）	授業の概要
A区分	社会医学	法医学	教授　近藤　稔和 ◎准教授　石田　裕子 ◎講師　野坂みずほ 講師　石上安希子	【特別演習】 児童虐待・乳幼児突然死に関する最新の文献を読み発表し議論する。 【特別研究】 中毒死、突然死のモデルを樹立してその分子メカニズムを解析する。
		環境保健予防医学	教授　藤吉　朗 ◎准教授　東山　綾 助教　竹村　重輝	【特別演習】 ①生活習慣病の予防に関するトピックについて討議する。②統計ソフトの基本操作演習を行う。③「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」を紹介する。適時 e-learning を活用する。 【特別研究】 ①論文作成に必要な背景知識（統計、倫理申請書を含む）を理解し、指導のもと可能な限り関連した実務も行う。②研究テーマにつき学会発表を目指し、博士論文を執筆する。
		公衆衛生学	教授　上田　豊	【特別演習】 個別化予防医学実践のためのゲノム情報やバイオマーカーを用いたデータ解析 予防医学、特に先制医療としての個別化予防医学に重点をおき、実際のデータを用いて統計ソフトを使用して解析する。 【特別研究】 個別化予防実践のためのバイオマーカー開発研究において、ゲノムやバイオマーカーの測定及びデータ解析を行う等の研究指導、並びに論文作成の指導を行う。
		医療統計学	◎教授　下川　敏雄 講師　万　可	【特別演習】 研究テーマに関連する最新の統計手法に関する論文を抄読し、研究動向を理解する。このとき、抄読の内容は研究ノートとして整理するとともに、パワーポイント等を用いて発表する。さらに、抄読内容を踏まえた新たな統計手法を開発する。 【特別研究】 新たな統計手法を実際のデータサイエンスに活かすための統計パッケージを開発するための研究指導を行う。開発にあたっては、統計解析環境 R あるいはプログラミング言語 python を利用する。また、開発したプログラムは、パッケージ化を行うこととする。また、学術論文を執筆するために必須である、統計的シミュレーションについて、その方法について指導するとともに、新たな統計手法の評価の方法について指導する。

区分	領域	主科目	担当教員 （◎研究指導教員）	授業の概要
A区分	社会医学	医療データサイエンス学／医療データサイエンスコース	◎教授　下川　敏雄	【特別演習】 研究テーマに関連する論文を抄読し、最新の研究動向を理解する。このとき、抄読の内容は研究ノートとして整理するとともに、パワーポイント等を用いて発表する。また、医療データサイエンスを実践する上で必要な統計的方法の知識及び統計解析環境Rを用いた利活用に関する能力を身につける。 【特別研究】 研究テーマに沿って作成したデータベースを用いて統計的データ解析を実践する方法について指導する。解析にあたっては、統計解析計画書を作成し、その内容についてパワーポイント等を用いたプレゼンテーションを行う。また、解析を実施した際においても、同様のプレゼンテーションを行う。これらを通じて，博士論文作成の指導を行う。
		医療情報学	◎教授　西川　彰則	【特別演習】 医療情報に関する論文を抄読し、医療情報を用いた研究法について討議する。 【特別研究】 立案された診療情報や生体情報を用いた研究に対して、研究指導及び論文作成の指導を行う。
	形態機能医学	分子機能形態学	教授　小森　忠祐 助教　久岡　朋子 ◎助教　梶本みずき	【特別演習】 種々の生体調節機構（神経系・代謝系・免疫系など）の異常を検討するための解析方法（主として組織学的解析）について講義し、その修得を指導する。 【特別研究】 サイトカインによる生体機能の調節とその異常による病理・病態の解明に関する研究について、組織学的・分子生物学的・行動生理学的手法などを用いた研究指導を行い、実験結果について議論し、学会発表や論文作成の指導を行う。
		システム神経生理学	◎教授　小林　克典 講師　井辺　弘樹	【特別演習】 分子からシナプス・回路を経て高次機能に至る中枢機能の階層的構造とその各段階の破綻によって生じる中枢疾患について、主に論文の精読と議論を通じて、体系的理解が達成されるよう指導する。 【特別研究】 正常動物又は疾患モデルに電気生理学、生化学、行動学的手法を適用して中枢神経機能を解析する。関連研究の動向を踏まえて実験結果について議論を行い、実験計画の検討と論文作成の指導を行う。

区分	領域	主科目	担当教員 (◎研究指導教員)	授業の概要
A区分	形態機能医学	統合分子生理学	教授　中田　正範 ◎准教授　廣野　守俊 講師　稲葉　秀文	【特別演習】 生理学的研究手法を修得させ、実験動物等を用いてデータの収集を指導する。 【特別研究】 疾患モデル動物を用いた生理学的研究によりデータを集積し、文献の収集と議論を行い、研究結果の解析と考察を進めて論文作成を指導する。
		機能調節薬理学	教授　西谷　友重 ◎講師　納富　拓也 ◎講師　陳　以珊	【特別演習】 イオンシグナル制御機構とその破綻による疾患：興奮性組織におけるイオンシグナル制御機構とその破綻による疾患に関し概説する。また最新の文献を読み、発表する機会を設ける。 【特別研究】 イオンシグナル異常による疾患の発症機構の解明と薬物療法についての研究指導を行う。またデータ収集・解析、英文での執筆など論文作成指導を行う。
		分子病理学	教授　江崎　正悟 ◎講師　及川　恒輔 ◎講師　中西　雅子	【特別演習】 形態学的情報・遺伝子発現に基づくがん細胞の形質の解析：がんの悪性化や転移に関する論文を読み、最新の研究動向を理解する。また、がん細胞の転移能亢進における分子メカニズムを明らかにする技術の修得を目指す。 【特別研究】 がん細胞の悪性形質獲得に関わる分子メカニズムの解析：遺伝子発現解析などを通じ、がんの治療標的の同定について指導する。
	細胞分子機能医学	代謝生物化学	教授　井原　義人 ◎准教授　西辻　和親	【特別演習】 生体分子の代謝の統合とその医学生理学的意義について、講述や最新の文献解読などを通じて学ぶ。 【特別研究】 タンパク質の”糖鎖/糖付加修飾”に焦点を絞り、糖質科学の観点から細胞機能を評価するため、生化学的な分離・精製、解析、分析などについて研究指導を行い、研究成果をもとに論文作成の指導を行う。
		分子遺伝学	教授　井上　徳光 准教授　馬場　崇	【特別演習】 分子遺伝学演習：補体関連疾患やがんの微小環境形成に関わる分子メカニズムを理解し、分子メカニズムの解明、診断方法の開発、治療戦略の開発をするために必要な知識や方法について考察し、理解を深める。 【特別研究】 分子遺伝学特別研究：補体関連疾患やがんの微小環境形成に関わる分子メカニズムを理解し、新規分子メカニズムの解明、新規診断方法の開発、新規治療戦略の開発について研究指導を行う。

区分	領域	主科目	担当教員 （◎研究指導教員）	授業の概要
A区分	細胞分子機能医学	分子病態解析学	教授　橋本　真一	【特別演習】 分子病態解析学における最近の論文を抄読し、最新の研究動向を理解するとともに、研究技能の向上を目指す。また、臨床医学と連携した研究課題を中心に研究を進め疾患における分子病態解析法について演習を行うことにより、幅広い視点から自ら考察する能力や課題発見力を養うとともに、研究結果の解釈法や発表方法について深く学ぶ。 【特別研究】 分子病態解析学において博士論文作成の指導を行う。研究計画の立案方法を修得するとともに、計画に沿って主導的にデータの収集・解析や実験を遂行する。また、各分野における高度先進医療・地域保健医療の課題に関する研究を実践し、その成果を発信して社会貢献できる高度な研究能力を身につける。
		難病発生学	教授　齋藤伸一郎 ◎講師　安藝　大輔 ◎助教　齋藤　良子	【特別演習】 自己免疫疾患や細胞生物学的な異常による難病について、最新の研究を文献解読を通じて学び議論する。 【特別研究】 自己免疫疾患やオルガネラ異常による難病の発症機構の解明のための研究指導を行い、研究成果を論文作成し発表できるように指導する。
		病原微生物学	◎教授　金井　祐太 講師　太田　圭介	【特別演習】 研究発表や論文抄読会を通じて、最新のウイルス学や関連分野に関する話題や今後の研究展開について議論を行う。 【特別研究】 ウイルスの複製機構に関する分子メカニズムの解明を目的とし、遺伝子組換えウイルスの作製と解析を通じた研究指導を行う。
B区分	総合医療医学	放射線医学	教授　土井　啓至 ◎准教授　生駒　顕	【特別演習】 放射線治療についての論文を読み、討議する。また、スライドを用いて放射線治療について講義を行う。 【特別研究】 放射線治療を行った前立腺癌や子宮頸癌の症例を後方視的に解析し、学会発表や論文作成の指導を行う。

区分	領域	主科目	担当教員 （◎研究指導教員）	授業の概要
B区分	総合医療医学	救急・集中治療医学	教授　井上　茂亮 ◎准教授　上田健太郎 講師　宮本　恭兵	【特別演習】 病院内の診療に加えて、病院前医療の仕組みを法的背景を含めてメディカルコントロール体制に関する理解を深め、我が国の救急医療体制の問題点を抽出する。 【特別研究】 より良い救急医療体制を構築するために必要な救急医療の質的評価項目を探索し、実臨床に反映するための仕組み作りに関する研究指導を行う。メディカルコントロールの普及と教育に関連する論文作成を指導する。
		麻酔科学	教授　川股　知之 ◎准教授　時永　泰行 准教授　神田　浩嗣	【特別演習】 周術期医療における最近の論文を抄読し、最新の研究動向を理解するとともに、研究技能の向上を目指す。またディスカッションを行うことにより、幅広い視点から自ら考察する能力や課題発見力を養うとともに、研究結果の解釈法や発表方法について深く学ぶ。 【特別研究】 周術期分野において博士論文作成の指導を行う。研究計画の立案方法を修得するとともに、計画に沿って主導的にデータの収集・解析や実験を遂行する。また、研究成果を発信して社会貢献できる研究能力を身につけるとともに、臨床技能の向上を図る。
		リハビリテーション医学	教授　幸田　剣 ◎講師　坂野　元彦	【特別演習】 リハビリテーション医学・医療に関する、最近の研究論文を抄読し、最新の研究動向を理解するとともに、ディスカッションを行うことで、討議能力の向上を目指す。 【特別研究】 リハビリテーション医学・医療に関する研究の立案と遂行及び学会発表や博士論文作成の指導を行う。
	器官病態内科学	糖尿病・内分泌代謝内科学	教授　松岡　孝昭 ◎准教授　森田　修平	【特別演習】 糖尿病発症に関わる分子メカニズムの解析手法の修得：糖尿病の発症に至る分子メカニズムについて解説し、そこから考えられる最適な治療について討論する。また、新知見の探求のための実験手技獲得に向け指導する。 【特別研究】 糖尿病発症に関わる分子メカニズムの解析に関する研究指導を行う。

区分	領域	主科目	担当教員 （◎研究指導教員）	授業の概要
B区分	器官病態内科学	呼吸器内科学	教授　山本　信之 （令和９年３月退職予定） ◎准教授　中西　正典 ◎講師　早田　敦志	【特別演習】 呼吸器内科関連の最新のデータの紹介とディスカッション：呼吸器疾患のトピックスについて講義を行う。課題を選定し、それに対して発表及び教員と議論を行うことにより、より専門的な知識・技能を修得する。 【特別研究】 呼吸器疾患に関する臨床研究等についてその実施方法の指導を行う。
		循環器内科学	教授　田中　篤 ◎准教授　北端　宏規 ◎講師　黒井　章央 講師　塩野　泰紹 ◎講師　山野　貴司 ◎講師　尾﨑　雄一 ◎講師　太田　慎吾 ◎助教　樽谷　玲	【特別演習】 循環器内科学における、最新の画像診断法・生理学的診断法：循環器疾患に関するイメージングを用いた診断法、圧・流速ワイヤーを用いた生理学的診断法の最新の研究手法及び成果を学び、それらを用いた臨床課題の解決能力を涵養する。 【特別研究】 循環器疾患に関するイメージングを用いた診断法、圧・流速ワイヤーを用いた生理学的診断法を用いた研究を指導し、論文作成を行う。
		腎臓・体内環境調節内科学	教授　荒木　信一	【特別演習】 慢性腎臓病・透析医療の最新の研究動向：慢性腎臓病・透析医療に関する最新の論文を抄読・討議することで、最新の研究動向並びに研究手法を修得するとともに、新たな治療法探索のための課題について学習する。 【特別研究】 慢性腎臓病の克服を目指した新たな治療戦略の構築に係る研究を指導する。
		リウマチ・膠原病科学	教授　藤井　隆夫 ◎准教授　岩田　慈	【特別演習】 特定の全身性自己免疫疾患に対する自己抗体・抗核抗体の測定に焦点を絞り、同領域に関する過去の報告を研究室内で検討するとともに、学会発表などを通じて他の研究者とディスカッションできるような知識修得のための授業を行う。なお関節リウマチについては主として藤井が、その他の膠原病については岩田が担当する。 【特別研究】 学会発表や他の研究者とのディスカッションを通じて、自身の研究をさらにブラッシュアップできるような授業内容とする。また研究の問題点を明確にした上で、社会に還元できる部分を抽出する。また論文作成の指導を行う。

区分	領域	主科目	担当教員 (◎研究指導教員)	授業の概要
B区分	器官病態外科学	脳神経外科学	◎准教授　北山　真理 ◎講師　八子　理恵 ◎講師　中井　康雄	【特別演習】 脳卒中予防に向けた地域の保健医療課題：脳卒中予防に関する最近の論文を抄読し、ディスカッションを行うことにより、幅広い視点から自ら考察する能力や課題発見力を養う。 【特別研究】 脳腫瘍又は脳血管障害の病態解明や治療法に関する研究計画の立案方法を修得するとともに、計画に沿って主導的にデータの収集・解析や実験を遂行できるように指導を行う。
		整形外科学	◎准教授　岩﨑　博 ◎准教授　筒井　俊二 ◎准教授　髙見　正成 ◎講師　長田　圭司 ◎講師　西山　大介 ◎講師　福井　大輔 講師　寺口　真年	【特別演習】 運動器疾患の神経生理学的・生体力学的調査研究に関する概説的な講義を行うとともに、最新の文献を読み、教員と議論することにより、運動器疾患に関する理解を深める。 ・運動器疾患の神経生理学、生体力学的研究の最近の動向 ・生体力学的研究の基礎と応用 ・神経生理学的研究の基礎と応用 【特別研究】 運動器疾患に関する神経生理学的・生体力学的解析を行い、運動器疾患の病態解明、治療法の開発に関する研究を行う。 ・神経生理学的、生体力学的の課題設定、計画立案 ・生体力学的研究の手法 ・神経生理学的研究の手法
		脊椎脊髄病学	◎教授　中川　幸洋	【特別演習】 脊椎脊髄疾患に関する治療の変遷及び低侵襲治療の開発と評価、現在開発中の低侵襲治療に関する評価と改良について検討を行う。 【特別研究】 脊椎脊髄疾患に関する治療の変遷及び低侵襲治療の開発と評価、現在開発中の低侵襲治療に関する評価と改良について研究、論文作成の指導を行う。
		視覚病態眼科学	教授　雜賀司珠也 教授　岡田　由香 ◎准教授　住岡　孝吉 ◎准教授　小門　正英 ◎准教授　田中　才一 ◎准教授　岩西　宏樹 ◎講師　石川　伸之 ◎講師　安田　慎吾	【特別演習】 眼組織並びに他臓器での創傷治癒や生体反応について講義する。並行した演習では、講義に関係する分野の最新論文を抄読することにより、研究動向を理解し、研究技能の向上を図る。担当教員との議論の中で眼組織創傷治癒に係る課題発見、研究結果の解析・解釈や発表方法について修得する。 【特別研究】 博士論文作成の指導を行う。研究課題の設定・研究計画の立案とともに、計画に沿って主導的にデータの収集・解析や実験を遂行する。眼組織の生体反応

区分	領域	主科目	担当教員 （◎研究指導教員）	授業の概要
B区分	器官病態外科学	視覚病態眼科学		に関して、日々の臨床活動や地域の保健医療での課題等の解決に向けた研究を実践し、研究成果を発信して社会貢献することの重要性を説く。
		耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	教授　保富　宗城 ◎准教授　玉川　俊次 ◎准教授　河野　正充	【特別演習】 １．聴覚、平衡覚（河野正充）、嗅覚・味覚（保富宗城） 人工内耳による聴覚の評価と最近の研究動向、平衡覚について重心動揺計を用いた評価と最近の研究動向、嗅覚障害動物モデルによる嗅覚行動検査と嗅覚再生機序研究の最近の動向を解説する。 ２．嚥下機能（玉川俊次） 嚥下障害の評価と最近の嚥下改善手術の動向を解説する。 ３．頭頸部癌・甲状腺癌（玉川俊次） 頭頸部癌におけるパピローマウイルス・EB ウイルスによる発癌機序研究、頭頸部癌転移機序における上皮間葉移行、甲状腺癌における遺伝子変異に関する最近の研究動向を解説する。 ４．耳鼻咽喉科頭頸部外科領域感染症（保富宗城） 耳鼻咽喉科感染症の難治化と重症化に関する最近の研究動向、耳鼻咽喉科頭頸部外科領域感染症に対する抗菌薬適正使用について解説する。 【特別研究】 １．病原微生物の保菌・感染・伝播における宿主細菌相互作用についての研究指導及び論文作成指導を行う。（河野正充） ２．嗅覚障害の再生における感覚免疫機序についての研究指導及び論文作成指導を行う。（保富宗城） ３．扁桃病巣感染症における細菌叢と単一細胞解析についての研究指導及び論文作成指導を行う。（保富宗城） ４．頭頸部癌・甲状腺癌における癌幹細胞の同定と解析についての研究指導及び論文作成指導を行う。（玉川俊次）
C区分	物理・化学薬学	物理・化学薬学	◎准教授　朱　　姝	【特別演習】 発表と総合討論を含む演習形式(PBL)の授業によって、到達目標に向けた学修を深める。 【特別研究】 発表と総合討論を含む演習形式(PBL)の授業によって、到達目標に向けた学修を深める。

区分	領域	主科目	担当教員 （◎研究指導教員）	授業の概要
C区分	物理・化学薬学	薬品物理化学	教授　中津　亨 ◎准教授　入江　克雅	【特別演習】 生体高分子の構造生物学的研究及びその構造解析研究手法に関する討論と解説を行う。 【特別研究】 生体高分子メカニズムの構造基盤解明及び構造生物学的解析法の高度化に関する研究の指導を行う。
		薬品化学	教授　相馬　洋平 ◎助教　澤﨑　鷹	【特別演習】 創薬化学を牽引する基盤的手法の演習を行う。 【特別研究】 創薬化学を牽引する基盤的手法の開発について指導する。
		生薬・天然物化学	教授　田村　理 ◎准教授　田中　千晶	【特別演習】 生物活性を示す天然有機化合物を見出すため、及び活性天然物を利用するために必要な技術や背景となっている理論を学び、応用する力を養成する。 【特別研究】 見出した活性天然物を医薬リードへと展開する研究及び活性天然物を利用して未知の生命現象を解明する研究指導を行う。
		有機合成化学	◎教授　村井　健一	【特別演習】 有機化学及び関連する生命科学分野の先進的な研究内容に関する文献抄録会やデータ検討会を定期的に行い、年に１回、自身の研究領域における最新動向を総説として発表することで、研究内容を深く理解して議論し、議論をもとに研究立案ができるよう学修を深める。 【特別研究】 有機化学に関する発展的研究を指導する。研究内容に応じて、実験手技、情報やデータの収集法、論文の執筆を指導し、研究を遂行するために必要な能力を修得し実践できるよう学修を深める。
	生命薬学	病態解析学	◎教授　長野　一也 准教授　山下　琢矢 助教　堤　崚太郎	【特別演習】 体内動態を基盤とした未病/疾患の理解/介入と問題解決能力の育成を目指す。 【特別研究】 体内動態を基盤とした未病・疾患の理解と制御に関する研究指導を行う。
		生物化学	教授　長田　茂宏	【特別演習】 遺伝子発現調節、再生・がん化、毒性評価に関する理解の統合と課題発見・解決能力の育成を目指す。 【特別研究】 遺伝子発現調節、再生・がん化、毒性評価に関する研究指導を行う。

区分	領域	主科目	担当教員 （◎研究指導教員）	授業の概要
C区分	生命薬学	生体機能解析学	◎教授　那波　宏之 （令和９年３月退職予定） 准教授　木口　倫一 講師　難波　寿明	【特別演習】 最新実例を踏まえて動物実験データの取り扱い、動物の手術技法、動物行動装置などの理解を深める。 【特別研究】 疼痛や精神疾患など感覚性機能障害を伴う脳神経疾患の最先端研究を紹介し、当該研究の重要性、課題、発展性を理解させる。
		衛生薬学	◎教授　佐能　正剛	【特別演習】 代謝酵素の発現調節機構や生理機能、疾患や副作用との関連性に関する知見に基づく議論を行う。 【特別研究】 代謝酵素の発現調節機構や生理機能、疾患や副作用との関連性に関する研究指導を行う。
D区分	医療薬学	病態生理学	教授　佐藤慎太郎 ◎講師　中村　有孝 ◎助教　民谷　繁幸	【特別演習】 感染症免疫学、粘膜免疫学、ウイルス学に関する、最新の原著論文詳読、研究計画立案、研究成果の発表、議論を行う方法を学ぶ。 【特別研究】 粘膜免疫、ウイルス学に関係する研究を行う。
		薬品作用学	教授　新谷　紀人 ◎講師　岩田　圭子 助教　野口　雅史	【特別演習】 週１回程度の文献抄読会、データ検討会を行う。 【特別研究】 脳やミトコンドリアをひとつの切り口とした基礎研究･応用研究を行う。研究内容に応じて実験手技、情報やデータの収集法、データ処理法、論文の執筆を指導する。
		薬剤学	◎教授　門田　和紀 准教授　福田　達也	【特別演習】 薬剤学に関する最新の文献詳読、研究データの発表、議論を行う方法を学ぶ。 【特別研究】 薬剤学に関わる最新の情報を収集し、研究計画を立案し、最新の手法を駆使して研究を行う。
	臨床・社会薬学	臨床・社会薬学	◎教授　松原　和夫 （令和９年３月退職予定）	【特別演習】 文献調査の研究報告・討論会を行う。パワーポイント等によるプレゼンテーション形式で発表し、質疑討論を行う。 【特別研究】 臨床薬剤師の病棟活動に基づくクリニカルクエスチョンをベースに、臨床研究の立案及びその実践を行う。
		病院薬学	教授　中川　貴之 ◎准教授　松本みさき 助教　抱　将史	【特別演習】 医療薬学、臨床薬理学等の病院薬学及び関連領域に関する概説的な講義を行う。またそれらに関する最新の文献を読み、内容を整理・考察し、発表する機会を設け、教員と議論を行う。

区分	領域	主科目	担当教員 （◎研究指導教員）	授業の概要
D区分	臨床・社会薬学	病院薬学		【特別研究】 病院診療記録や医療ビッグデータ等から得られた様々な臨床課題をもとに、実験系の構築、治療標的や予防/治療候補薬の探索等の基礎研究、あるいはその臨床課題を解決するための臨床研究を行う。
		医療薬剤学	教授　　江頭　伸昭	【特別演習】 医療薬剤学の研究報告会を行う。パワーポイント等によるプレゼンテーション形式で発表し、質疑討論を行う。 【特別研究】 教員が指導し、学生各自の研究内容について特別研究を行う。
		医療開発薬学	教授　　今井　哲司 ◎准教授　山下　　哲	【特別演習】 慢性疼痛や睡眠障害の神経科学的な発症機序について講義を行う。また、最新の文献を読み、発表する機会を設け、教員と議論を行うことにより最新知見だけでなく、アンメットメディカルニーズや新規治療戦略に関する理解を深める。 【特別研究】 末梢神経障害や睡眠障害を中心とした神経疾患の発症機序解明を目的とした研究指導を行う。また、見出した治療標的に基づく新たな原因療法開発の実践・推進に必要なスキル修得を目的とした指導を行い、アンメットメディカルニーズに挑戦する高度医療人材の養成を目指す。

令和９年度（２次募集）

和歌山県立医科大学大学院医学薬学総合研究科
生命医療科学専攻（博士後期課程）入学願書

令和　　年　　月　　日

和歌山県立医科大学長　様

ふりがな
氏　名

貴学大学院医学薬学総合研究科に入学したいので、所定の書類を添えて出願いたします。

<table>
<tr><td>現　住　所
連　絡　先</td><td colspan="7">〒　　－
TEL（　　）　　－</td></tr>
<tr><td>生　年　月　日</td><td colspan="3">年　　月　　日生</td><td>性　別</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>本　籍　地</td><td colspan="3">都・道・府・県</td><td>外国人
国　籍</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">保　証　人
（父母またはこれに代わる者）</td><td>氏　名</td><td colspan="2"></td><td>年齢</td><td></td><td>続柄</td><td></td></tr>
<tr><td>現住所</td><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">志　望　科　目</td><td colspan="2">領　域</td><td colspan="2">主　科　目</td><td colspan="3">主任教授等又は研究指導教員
署名欄</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>入学に関し諸通知を受ける場所</td><td colspan="7">〒　　－
TEL（　　）　　－</td></tr>
<tr><td rowspan="2">入学出願資格</td><td>(1)</td><td>(2)</td><td>(3)</td><td>(4)</td><td>(5)</td><td>(6)</td><td>(7)</td><td>(8)①</td><td>(8)②</td><td>(9)</td><td>(10)</td></tr>
<tr><td colspan="11">募集要項の「Ⅳ 入学出願資格」により該当する番号に〇を付けること</td></tr>
</table>

備考　(1)願書記入の際は募集要項を熟読の上、記入漏れのないようにすること。特に志望科目の記入に注意すること。
(2)履歴事項は裏面に記入すること。
(3)出願者は事前に志望科目の主任教授等又は研究指導教員の承諾を得ておくこと。（研究指導教員については、P.11 以降の担当教員欄を参照すること。）
(4)押印は不要

履　　歴　　書

	年　月　日	事　　項
学歴・高等学校卒業以上		
職歴		
免許・資格等		（　　第　　号）
		（　　第　　号）
		（　　第　　号）
賞罰		

上記の通り相違ありません

令和　　年　　月　　日

氏　　名

令和９年度（２次募集）
和歌山県立医科大学大学院医学薬学総合研究科
生命医療科学専攻（博士後期課程）志望理由書

氏　名	

【志望理由】

令和９年度（２次募集）
和歌山県立医科大学大学院医学薬学総合研究科
生命医療科学専攻（博士後期課程）入学試験
写　真　票

受験番号	※　後　第　　号
領　域	
志望科目	
ふりがな 氏　名	
生年月日	年　月　日生

写　真
縦４cm×横３cm

（注）※印の欄は記入しないこと

切り離さないで提出してください。

令和９年度（２次募集）
和歌山県立医科大学大学院医学薬学総合研究科
生命医療科学専攻（博士後期課程）入学試験
受　験　票

受験番号	※　後　第　　号
領　域	
志望科目	
ふりがな 氏　名	
生年月日	年　月　日生
試 験 日	**令和９年１月８日（金）**
試験時間	専門筆記試験　11:00～12:00 面　接　13:30～16:30 語学試験　17:00～18:30

写　真
縦４cm×横３cm

（注）※印の欄は記入しないこと

研　究　計　画　書

氏　名	

研　究　課　題	

1. 年次計画

2. 大学における主たる研究日

注：　上記項目について、1～3 年の学年毎に記入すること。

本様式に直接記入するか、本様式（Ａ４判）に準じてパソコン等により作成すること。

博 士 後 期 課 程 用

和歌山県立医科大学大学院医学薬学総合研究科

入 学 検 定 料 納 付 書

受 付 番 号	※	受 験 番 号	※

受 験 者　（楷書で書いてください）

住　所

氏 名（フリガナ）

注　意

入学検定料３０，０００円を同封の振込依頼書で振込み、振込みを済ませた後、金融機関窓口で返還された書類のうち、入学検定料振込金受付証明書（C票）を、下欄に貼付してください。（取扱金融機関の収納印があることを、必ず確認してください。）

入学検定料振込金受付証明書（C 票）　貼付欄

（　証明書貼付　）

（注）※欄は記入しないでください。

受　験　許　可　書

氏　　名

生年月日

上記の者が、令和９年度（２次募集）和歌山県立医科大学大学院医学薬学総合研究科生命医療科学専攻(博士後期課程)の入学試験を受験することを許可します。

令和　　年　　月　　日

和歌山県立医科大学長　様

所在地

機関名

所属長（職・氏名）

令和９年度（２次募集）
和歌山県立医科大学大学院医学薬学総合研究科
生命医療科学専攻（博士後期課程）出願資格審査申請書

令和　　年　　月　　日

和歌山県立医科大学長　様

（ふりがな）
氏　　名

生年月日　　年　　月　　日生

貴学大学院医学薬学総合研究科　生命医療科学専攻(博士後期課程)の出願資格審査について、所定の書類を添えて申請いたします。

<table>
<tr><td>志望する領域、主科目</td><td colspan="2">領域</td><td colspan="8">主科目</td></tr>
<tr><td rowspan="4">学歴
(高等学校卒業以降から記入)</td><td colspan="2">昭･平･令　年　月　日</td><td colspan="8"></td></tr>
<tr><td colspan="2">昭･平･令　年　月　日</td><td colspan="8"></td></tr>
<tr><td colspan="2">昭･平･令　年　月　日</td><td colspan="8"></td></tr>
<tr><td colspan="2">昭･平･令　年　月　日</td><td colspan="8"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">資格</td><td colspan="2">昭･平･令　年　月　日</td><td colspan="8"></td></tr>
<tr><td colspan="2">昭･平･令　年　月　日</td><td colspan="8"></td></tr>
<tr><td rowspan="6">職歴
(在職歴のある者は在職中も含めて記入してください。)</td><td colspan="5">期　　間</td><td colspan="5">最終学校卒業後の経歴</td></tr>
<tr><td colspan="5">昭･平･令　年　月～昭･平･令　年　月</td><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td colspan="5">昭･平･令　年　月～昭･平･令　年　月</td><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td colspan="5">昭･平･令　年　月～昭･平･令　年　月</td><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td colspan="5">昭･平･令　年　月～昭･平･令　年　月</td><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td colspan="5">昭･平･令　年　月～昭･平･令　年　月</td><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td>現住所</td><td colspan="10">〒
Tel(　　)　　―</td></tr>
<tr><td>審査結果通知先</td><td colspan="10">〒
Tel(　　)　　―</td></tr>
<tr><td rowspan="2">入学出願資格</td><td>(1)</td><td>(2)</td><td>(3)</td><td>(4)</td><td>(5)</td><td>(6)</td><td>(7)</td><td>(8)①</td><td>(8)②</td><td>(9)</td><td>(10)</td></tr>
<tr><td colspan="11">募集要項の「Ⅳ 入学出願資格」により該当する番号に〇を付けること</td></tr>
</table>

研　究　活　動　歴

氏　名	

年　月	事　　項

注：　学会及び社会における活動等について、活動内容（研究発表等を含む。）及び期間を年次順に記入すること。

　本様式に直接記入するか、本様式（Ａ４判）に準じてパソコン等により作成すること。

【大学院博士後期課程入学試験用】

（切り離して納付してください。）

A票（大学院博士後期課程入学試験用）

電信扱

和歌山県立医科大学大学院医学薬学総合研究科　入学検定料

振　込　依　頼　書

手数料振込人負担

ご依頼日	令和　年　月　日	電信扱	手数料						
先方銀行	紀陽銀行　紀三井寺支店	金　額		￥	3	千 0	0	0	円 0
受取人	普通預金　0627227	内訳	通　貨						
	こうりつだいがくほうじん　わかやまけんりついかだいがく								
	公立大学法人　和歌山県立医科大学								
			振　替						
整理番号	←この数字はフリガナの前に打電すること	領収済印又は振替印	取扱金融機関収納印						
B00004	(フリガナ)※		A						
ご依頼人 氏名	※								
ご依頼人 住所	※　電話　（　）		3ヶ所押印						
		送信番号							

※印欄は必ず記入してください。

〔取扱金融機関へのお願い〕
1.　必ず、フリガナの前に整理番号を打電してください。
2.　B･C票は、必ずご依頼人へお返し下さい。

金融機関使用欄

（取扱金融機関保存）

金融機関で切り離して下さい

B票（大学院博士後期課程入学試験用）

和歌山県立医科大学大学院医学薬学総合研究科　入学検定料

振込金(兼手数料)受領書

令和　年　月　日	手数料						
金　額		￥	3	千 0	0	0	円 0
先方銀行	紀陽銀行　紀三井寺支店						
受取人	普通預金　0627227						
	こうりつだいがくほうじん　わかやまけんりついかだいがく						
	公立大学法人　和歌山県立医科大学						
ご依頼人（氏名）	(フリガナ)※						
	※						

※印欄は必ず記入してください

上記金額、正に領収しました。
【取扱金融機関】

銀行

支店

取扱金融機関収納印

B

3ヶ所押印

（取扱金融機関→ご依頼人）　大切に保存してください。

振り込み後自分で切り離してください

C票（大学院博士後期課程入学試験用）

和歌山県立医科大学大学院医学薬学総合研究科　入学検定料

振込金受付証明書

金額	￥	3	千 0	0	0	円 0
先方銀行	紀陽銀行　紀三井寺支店					
受取人	公立大学法人 和歌山県立医科大学					
整理番号	B00004					
フリガナ	※					
氏名	※					

※印欄は必ず記入してください。

公立大学法人
和歌山県立
医科大学
医学薬学総合研究科

取扱金融機関収納印

C

3ヶ所押印

（ご依頼人→大学）貼付用

交通案内

○JR紀三井寺駅より徒歩約10分
○JR和歌山駅より和歌山バス利用
「医大病院」又は「医大病院前」停留所下車
約30分
○南海和歌山市駅より和歌山バス利用
「医大病院前」停留所下車　約40分



